

櫛形北小だより



本校HP

学校教育目標「ゆたかな心を持ち たくましく生きる」

<http://www.kita.m-alps.ed.jp/>

今年、櫛形北小は創立60周年 発行：校長室 2018. 12. 20 (No. 8)

冬休みも「小さな習慣」を大切に

校長室の廊下の壁には、「わたしの目標 小さな習慣」という掲示物が貼ってあります。これは2年生以上の子どもたちに、自分ががんばりたいこと、それを達成するために何をしていくかを考えて書いてもらったものです。1学期に決めたものを貼りだしていましたが、気分も一新、このたび新しいものを考えてもらい貼りだしました。

「逆上がりができるようになるー中休みか昼休みに練習する」「漢字をがんばるー一月から金まで1日2ページ漢字を練習する」「一輪車に乗れるようになるー毎日、練習する」「リコーダーがうまくなるー毎日10分間リコーダーを練習する」「前より本をたくさん読むー毎日ちよつとずつでも本を読む」子どもたちが考えた目標とそのための小さな習慣はさまざまです。

1日に10分間、なにかに取り組むと、1年間では3650分にもなります。約60時間です。わずかな時間でも積み重ねていくと、大きな効果があらわれるものです。

間もなく冬休み。子どもたちにはがんばりたいことが達成できるように、小さな習慣を休み中も続けていってほしいと願います。

参加者が多かった放課後学習教室



個別懇談日を利用して、放課後学習教室を4日間開きました。

11月から下校時刻が16:00になり、放課後学習教室が設けにくくなっていました。個別懇談期間中は、時間に余裕がでるため、最大限おこなうようにしました。

4日間とも30人近い子どもたちが集まりました。どんな学習をしているのか見てみると、ノートに漢字練習、漢字プリント、復習ノート、ローマ字の練習、国語の問題集、算数プリント、算数の問題集などでした。わからないところを担当の教師に質問しながら、放課後を有意義に過ごしていました。3学期も可能な範囲で放課後学習教室をおこなっていく予定です。保護者の方からお子さんへの声かけをお願いします。

東京タワー・内藤多仲先生について学ぶ

来年度の修学旅行に向けて、5年生が事前学習で東京タワーと内藤多仲先生について事前学習をしています。講師を招いての授業を12月4日(火)におこないました。

今回の講師は、大学生のときに内藤多仲先生のもとで学ばれた齊藤康弘さんです。齊藤さんはお仕事は設計事務所をされていて、櫛形北小学校の今の校舎も設計をされました。

当日は、耐震構造建築の仕組みが分かる模型、内藤多仲先生が学生時代に使ったノート、建築時の写真や設計図面など、たくさんの資料を用意され、東京タワーの耐震の仕組みや内藤多仲先生の人柄について説明をしていただきました。私も少しの時間、話をうかがいましたが、内藤多仲先生がたいへんな努力家だったこと、健康のためによく歩かれていたことなど、印象に残りました。

「積み重ね つみ重ねても またつみかさね」という言葉。勇気を与えてくれる言葉だと思います。



朝の読み聞かせ ボランティアさん ありがとうございます

学校では、地域のたくさんの方のお世話になっています。朝の読み聞かせボランティアのみなさんも、お世話になっている方々です。10～12月にも朝読書の時間に本を読んでいただきました。ボランティアの皆さんにはそれぞれ、子どもたちに読んで聞かせたい本を用意して来ていただき、学級を訪問して読み聞かせをしていただきました。

地域のボランティアさんに読んでいただくことは、子どもたちにとっても貴重な時間になっています。

ありがとうございます。来年も、よろしくお願いします。



大和川の土手の環境整備をありがとうございます



8月末の保護者の皆さんによる親子奉仕作業以来、大和川の土手の草刈りや雑木伐採はする機会がなく、秋には伸び放題になってしまいます。

11月末の日曜日、桃園区の皆さんが環境整備をしてくださり、きれいになりました。もう年十年にもわたってしてくださっているということで、ありがとうございます。